



up! クイックユーザーガイド

初めに本書をお読みください



up! に関する資料

本書



クイックユーザーガイド

基本的な運転方法、装備の使用方法などをわかりやすく説明しています。

ご使用にあたっての注意、警告に関する内容は、「取扱説明書」をお読みください。

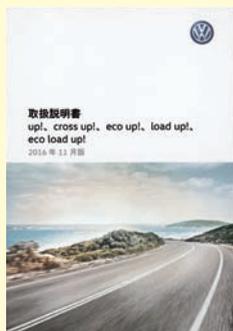
モデル、グレード、オプションなどにより、装備が異なる場合があります。

QRコードについて

本書内で QR コードが表示されている機能は、動画で機能の説明を確認することができます。

QR コード対応の携帯電話から QR コードを読み取ると、各機能の動画による説明が閲覧できます。

動画の閲覧には別途、通信料が発生します。パケット定額サービスなどの料金制度に加入されていない場合、パケット通信料が高額となりますので予めご注意ください。



取扱説明書

装備の詳細な使い方や、使用上の注意などについて記載しています。

本書と合わせて必ずお読みください。

up!

クイックユーザーガイド

目次

運転の前に

運 転

便利な機能

up! クイックユーザーガイド 目次

目次

外観	4
内装	8

1. 運転の前に 10

運転準備	10
リモコンキー	10
ドアロック	11
シートの調整	12
ステアリングホイールの調整	14
ミラーの調整	15
シートベルト	17

2. 運転 20

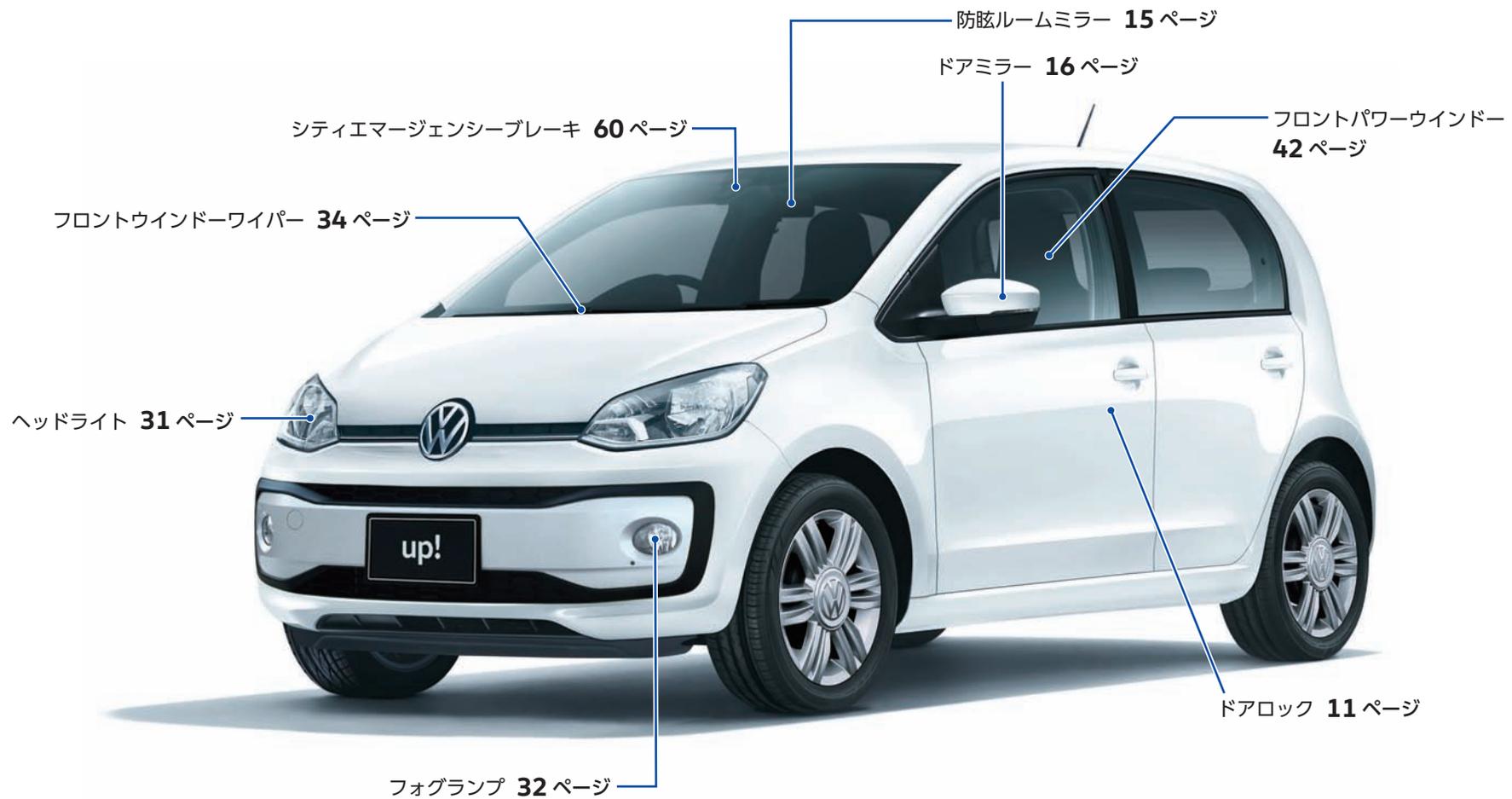
運転する	20
コンビネーションメーター	20
警告灯および表示灯	22
マルチファンクションインジケーター	24
エンジンの始動・停止およびトランスミッションのシフト操作	26
ティプトロニックモードでのシフト操作	29
パーキングブレーキ	29
Start/Stop システム	30
ライト	31
方向指示器	33
非常点滅表示灯	34
ウインドーワイパー、ウォッシャー	34
燃料の給油	36

3. 便利な機能 38

室内装備	38
マニュアルエアコンディショナー	38
フルオートエアコンディショナー	40
ウインドー	42
シートヒーター	44

チャイルドシート	45
エアバッグ	46
ルームランプ、リーディングランプ	47
12V ソケット	47
スマートフォンホルダー	48
荷物の積載	50
ラゲージルーム	50
車内収納	52
ルーフキャリア	55
運転支援	56
スタートアシストシステム	56
パークディスタンスコントロール	57
クルーズコントロールシステム	58
シティエマージェンシーブレーキ	60
ESC (エレクトロニック・スタビリティ・コントロール)	62
タイヤモニタリングシステム	63

| 外観

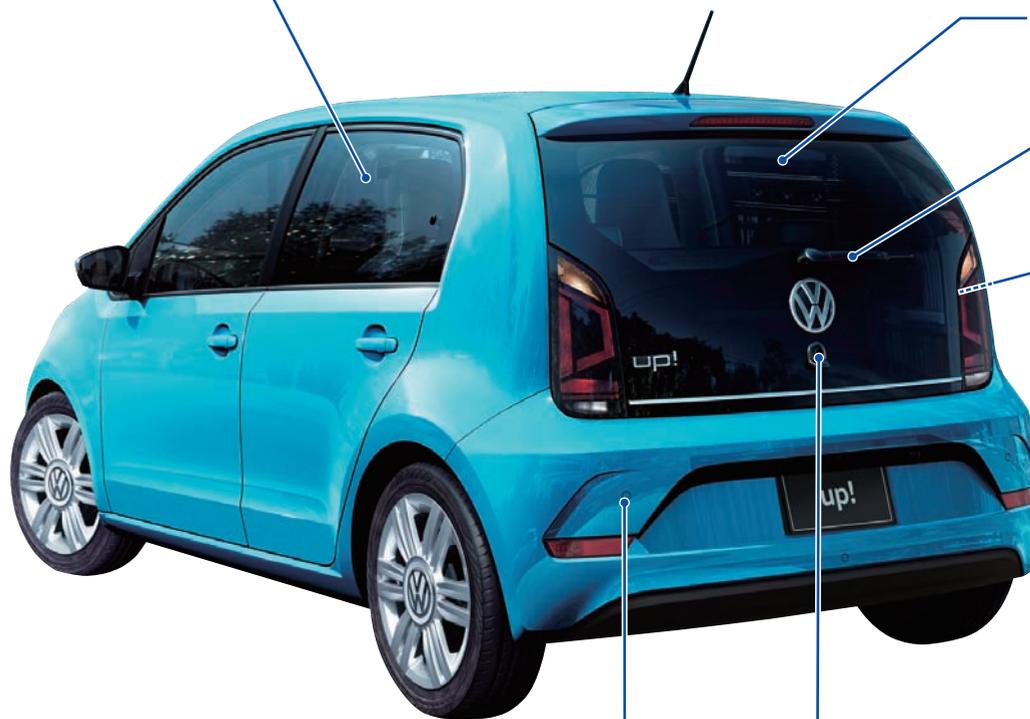


リヤチルトウインドー **43** ページ

リヤウインドーヒーター **41** ページ

リヤウインドーワイパー **35** ページ

フューエルリッド **36** ページ



テールゲート **50** ページ

パークディスタンスコントロール **57** ページ

内装

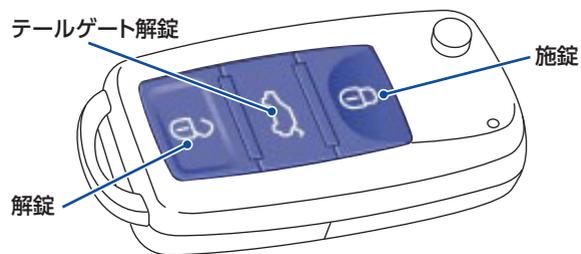


運転の前に

運転準備

リモコンキー

リモコンキーを使って、車から離れたところからドアとテールゲートを施錠、解錠することができます。



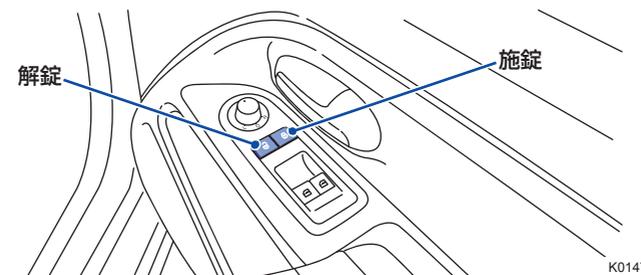
K01472

- 解錠ボタン…………… すべてのドアおよびテールゲートを解錠します。
 - 施錠ボタン…………… すべてのドアおよびテールゲートを施錠します。
 - テールゲート解錠ボタン… テールゲートのみ解錠します。
- 解錠後、30 秒以上ドアやテールゲートを開けない場合、自動的に施錠します。

ドアロック

センターロッキング

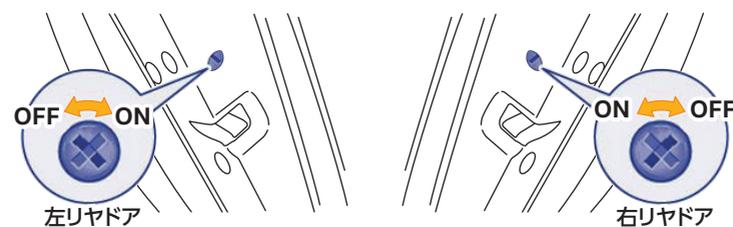
車内からは、運転席のドアについているセンターロッキングスイッチで解錠、施錠ができます。



K01473

チャイルドブルーロック

お子様などが誤ってドアを開けないようにする機能です。ONにした場合には、リヤドアを車内から開けることができません。

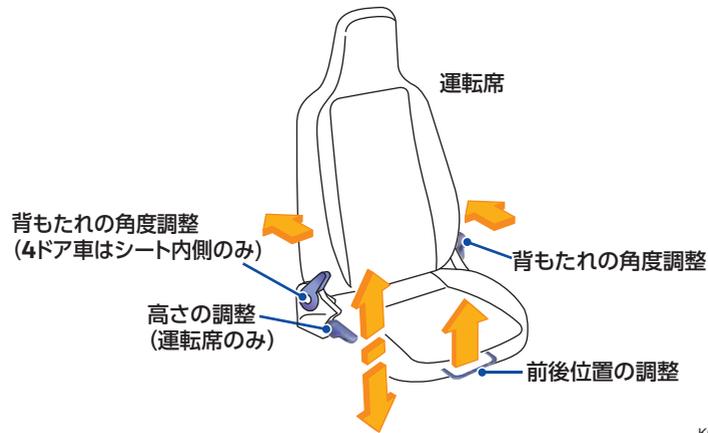


K01474

シートの調整

シート位置の調整 (フロントシート)

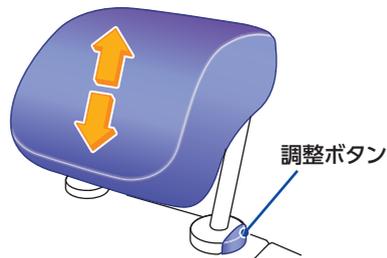
シートの高さ、前後位置、背もたれの角度を調整することができます。



K01475

ヘッドレストの高さ調整 (リヤシート)

高さを調整することができます。手動で上げられます。下げる場合は調整ボタンを押しながら、下げてください。



K01476

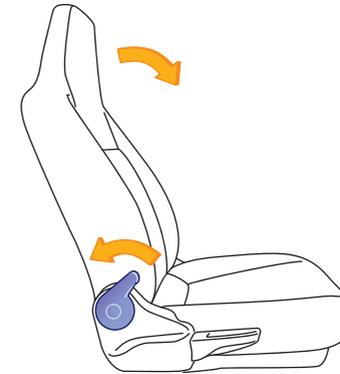
フロントシートのヘッドレストは、背もたれと一体式なので、調整できません。

リヤシートへの乗り降り (2ドア車)

シート内側または外側のレバーを矢印方向に操作して、背もたれを前方に倒します。

同時に、シートを前方にスライドさせます。

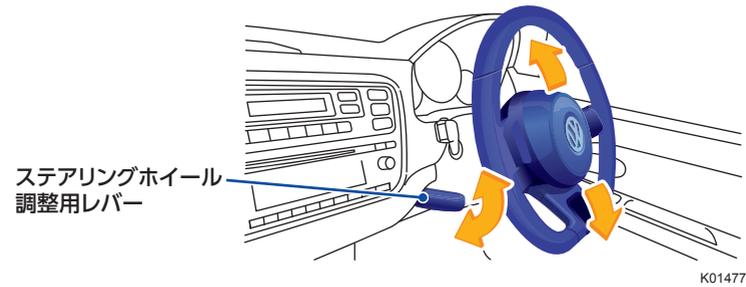
シートを戻す場合は、ロックするまでシートを後方にスライドさせ、背もたれを戻しロックさせます。



K01546

ステアリングホイールの調整

ステアリングホイールの高さを調整することができます。



操作手順

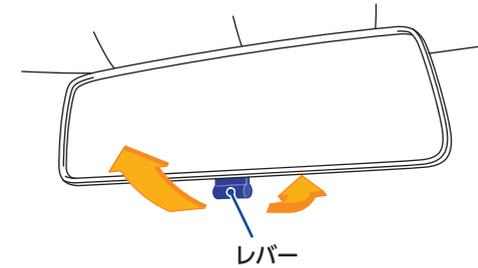
- 1 ステアリングホイール調整用レバーを下げます。
- 2 手で高さを調整します。
- 3 調整した高さを保持し、ステアリングホイール調整用レバーを上げて固定します。

ミラーの調整

防眩ルームミラーの調整

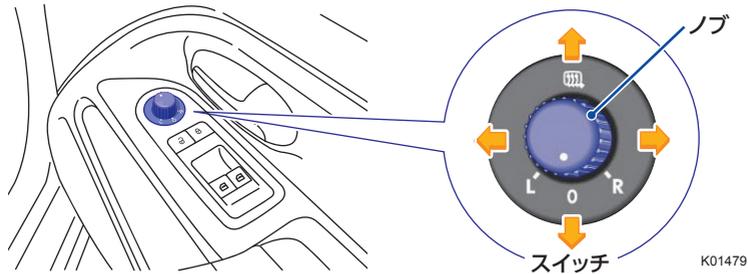
レバーをフロントウインドー側に倒した状態で、ミラーの基本位置を調整してください。

夜間の走行中、後方の車両のヘッドライトが眩しい場合、レバーを手前に引いてください。



ドアミラーの調整

運転席のドアについているスイッチ（回転式ノブ）で調整できます。

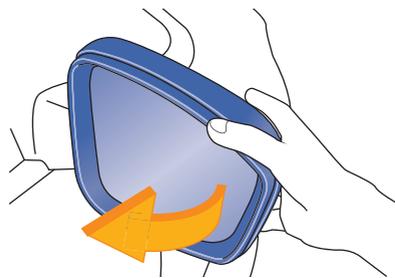


操作手順

- ① ノブを回して、“L”（左側）もしくは“R”（右側）に合わせます。
- ② ノブを上下、左右に動かして、ドアミラーを調整します。
- ③ ドアミラーの角度を調整したら、ノブを回して、“0”に合わせます。

ドアミラーの格納

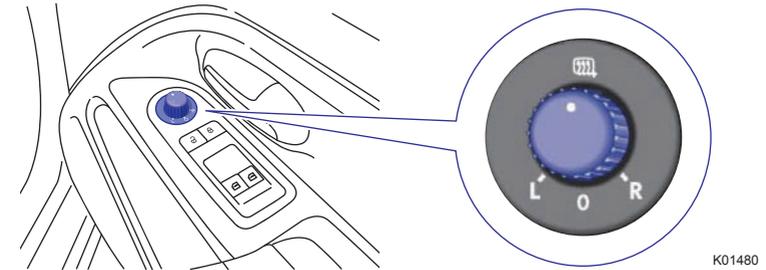
ドアミラーは手動で格納、展開することができます。「カチッ」と音がするまで正しく動かし、展開してください。



K01547

ドアミラーヒーター

ドアミラースイッチの中央のノブをに合わせると、ドアミラーヒーターが作動します。



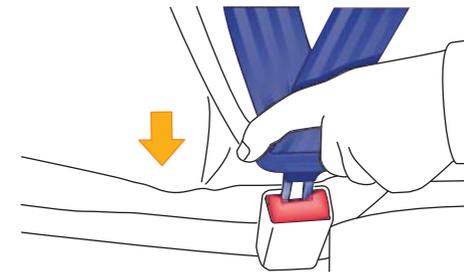
K01480

シートベルト

全席に3点式シートベルトが装備されています。

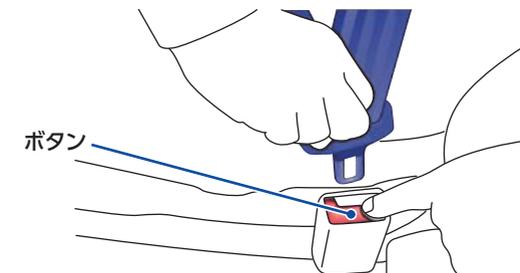
シートベルトの取り付け、取り外し

バックルに差し込むと自動的に固定されます。



K01481

バックルのボタンを押すと外れます。

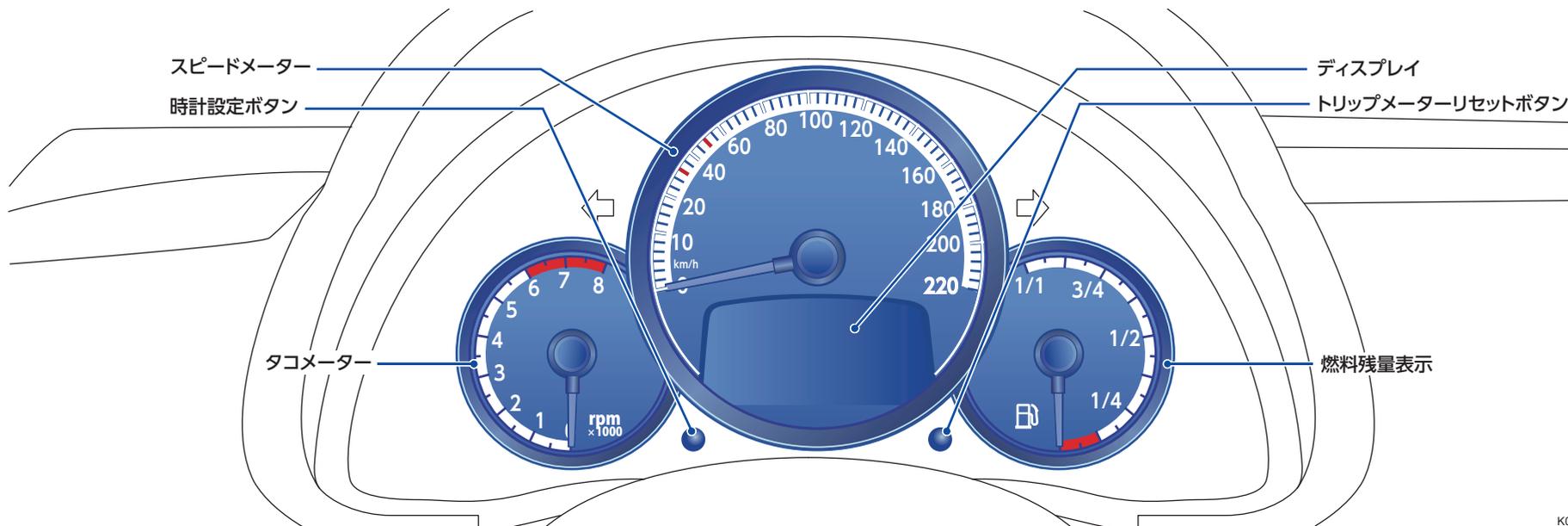


K01482

運転

運転する

コンビネーションメーター



K01485

時計の設定方法

操作 手順

- 1 時計設定ボタンを押します。
- 2 時間表示がハイライトされますので、時間を変更する場合はトリップリセットボタンを押して正しい時間を設定してください。
- 3 もう一度時計設定ボタンを押すと、分表示がハイライトされますので、分を変更する場合はトリップリセットボタンを押して正しい分を設定してください。
- 4 もう一度時計設定ボタンを押すと、時計設定が完了します。

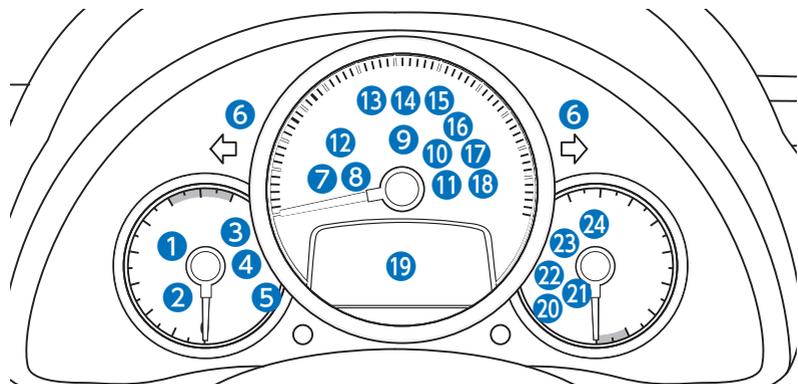
距離表示

トリップメーターは、前回リセットして以降の走行距離を表示します。

トリップメーターリセットボタンを短く押すと、トリップメーターと総走行距離表示の切り替えができます。

また、トリップメーターを表示した状態でトリップメーターリセットボタンを長く押すと、トリップメーターがリセットされます。

警告灯および表示灯



K01535

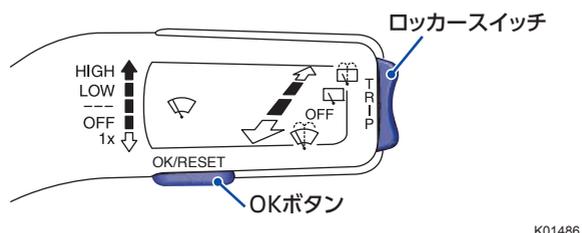
位置	シンボル	意味
1		タイヤ空気圧低下、タイヤ空気圧モニタリングシステム故障
2		トランスミッション故障
2		トランスミッションオーバーヒート / ギヤシフト異常 / 緊急プログラムで作動中
3		点灯：ESC 故障、バッテリー再接続 点滅：ESC 作動中
4		点灯：触媒コンバーター故障 点滅：エンジン失火による触媒コンバーター損傷
5		エンジン制御システム故障
6		方向指示器 / 非常点滅表示灯作動中
7		エアバッグ / シートベルトテンショナーシステム故障
8		ABS 故障
9		ハンドブレーキ作動中
10		ブレーキペダルの操作が必要
11		電動パワーステアリング故障
11		電動パワーステアリング機能低下

位置	シンボル	意味
12		点滅：ハンドブレーキが必要
13		点灯：リヤフォグランプ使用時
14		点灯：ハイビーム使用時
15		点灯：トラクションコントロールシステムの故障またはシステムによる作動停止
16		クルーズコントロールシステム作動中
17		ブレーキパッド摩耗
18		ブレーキシステム故障、ブレーキ液量少
19		ドア / テールゲート / ボンネット開
19		リヤシートベルト非着用
19		リヤシートベルト着用
19		サービスリマインダー、点検時期
19		外気温度 4°C 以下
19		Start/Stop システム エンジン自動停止中
19		Start/Stop システム エンジン作動中、自動停止不可、自動再始動不可
19		速い点滅：シティエマージェンシーブレーキ作動 遅い点滅：シティエマージェンシーブレーキ使用不可
20		点滅：エンジンオイル油圧低下
21		フロントシートベルト非着用
22		充電系統故障
23		点滅：冷却システム故障、冷却水量少、冷却水高温
24		燃料残量少

マルチファンクションインジケータ

コンビネーションメーターのディスプレイでマルチファンクションインジケータを選択すると、様々なドライビングデータを確認することができます。

ディスプレイの表示は、ステアリングホイール右側のウインドウイパーレバーについているロッカースイッチの上下および OK ボタンで操作します。



メニューと表示項目

メニュー	項目
MFI (マルチファンクション インジケータ)	Travel time (走行時間) ※ イグニッションスイッチを“ON”にしてからの経過時間を表示します。
	Consumption (燃費) 現在の燃料消費率を表示します。
	Av. consumption (平均燃費) ※ 平均燃費を表示します。イグニッションスイッチを“ON”にしてから 100m 走行後に表示されます。
	Range (走行可能距離) 残りの燃料で走行可能な距離を表示します。
	Distance (走行距離) ※ イグニッションスイッチを“ON”にしてからの走行距離を表示します。
	Odometer (総走行距離) 車両の総走行距離を表示します。
	Average speed (平均車速) ※ 平均車速を表示します。 イグニッションスイッチを“ON”にしてから 100m 走行後に表示されます。
	車速 現在の車速を表示します。
	Oil temperature (油温) エンジンオイル温度を表示します。

メニュー	項目
	Coolant temperature (冷却水温度) 冷却水温度を表示します。
	Speed warning (警告速度) 警告速度の設定をすることができます。
Audio (オーディオ)	オーディオシステムの取扱説明書を参照してください。
Vehicle status (車両ステータス)	警告 / 情報テキストがある場合のみ表示します。
Settings (設定)	各種設定 (時刻、言語、単位等)

※：以下の 2 種類のメモリーがあり、OK ボタンで表示を切り替えることができます。

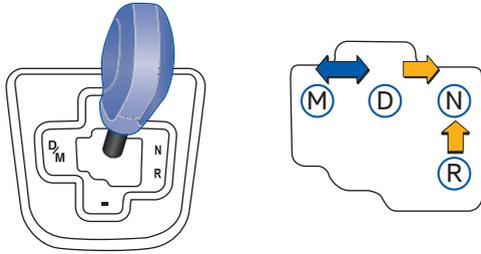
- ・ 1 (トリップジャーニーメモリー)
イグニッションスイッチを“ON”にしてからのデータを表示します。イグニッションスイッチ“OFF”後、約 2 時間経過するとリセットされます。
- ・ 2 (トータルジャーニーメモリー)
長期間のデータを表示します。総走行時間が 19 時間 59 分、または総走行距離が 1,999.9km に達する毎にリセットされます。(仕様によって異なります)

エンジンの始動・停止およびトランスミッションのシフト操作

エンジンの始動

操作手順

- 1 セレクターレバーを“N”位置にシフトします。
ブレーキペダルを踏んだ状態で、セレクターレバーを“N”位置にシフトします。



K01542

セレクターレバーの位置	働き
R	車両を後退させるときはこの位置にシフトします。
N	タイヤに駆動力は伝達されず、エンジンブレーキは作動しません。
D	ギヤを自動的にシフトアップ・シフトダウンします。
M	ギヤを手動でシフトアップ・シフトダウンできます。

- 2 エンジンを始動します。
キーを差し込んで矢印の方向に回し、イグニッションスイッチを“ON”にしてエンジンを始動します。



K01543

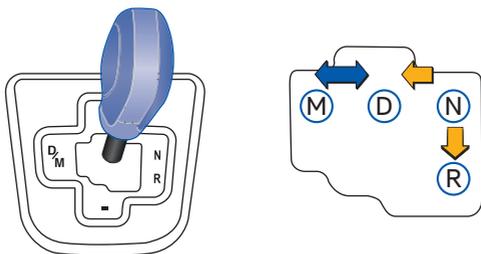
アドバイス

キーを素早く操作した場合、エンジンが始動するまで少し時間がかかることがあります。
エンジンが始動するまでしばらくキーを回し続けてください。

エンジンの停止

操作手順

- 1 セレクターレバーを“D”または“R”位置にシフトします。
ブレーキペダルを踏んだ状態で、セレクターレバーを“D”または“R”位置にシフトします。



K01544

- 2 エンジンを停止します。
キーを矢印の方向へ回し、エンジンを停止します。



K01545

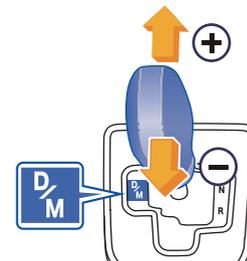
アドバイス

セレクターレバー“N”位置で停車している場合、車両が動き出すおそれがあります。
特に、ハンドブレーキが凍結するような状況では、必ずセレクターレバーを“D”または“R”位置にシフトして停車してください。

ティプトロニックモードでのシフト操作

セレクターレバーを“D”位置から左側に倒して“M”位置にシフトするとティプトロニックモードになり、思いどおりの変速段を選択して運転することができます。

“+”（前方に押す）でシフトアップ、“-”（後方に引く）でシフトダウンします。



K01536

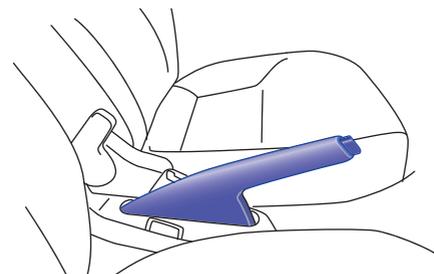
ティプトロニックモードを解除するには、セレクターレバーを再度、左側に倒してください。

パーキングブレーキ

ハンドブレーキ

ハンドブレーキをかけるには、ハンドブレーキレバーを上方に引き上げます。

ハンドブレーキを解除するには、ハンドブレーキレバーを少し引きながらロックボタンを押して、ハンドブレーキレバーを下ろします。



K01537

Start/Stop システム

Start/Stop システムは、信号待ちや渋滞などで停止しているとき、自動的にエンジンを停止・再始動させるシステムです。

車両を停止させたあと、ブレーキペダルを踏み続けると、エンジンが自動停止します。

自動停止中にブレーキペダルを放す、またはアクセルペダルを踏むと、エンジンが自動再始動します。

エンジンの作動状態はコンビネーションメーターのディスプレイに表示されます。

 …… エンジン自動停止中

 …… エンジン作動中、自動停止不可、または自動停止中で自動再始動できない

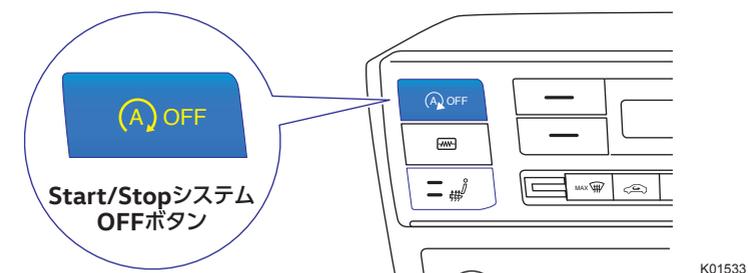
自動再始動できない場合、手動でエンジンを始動してください。
自動停止・自動再始動が可能な条件の詳細は取扱説明書の Start/Stop システムを参照してください。

Start/Stop システムの機能停止

Start/Stop システムの機能を OFF にする場合は、センターコンソール上部の Start/Stop システムボタンを押します。

システムを OFF にするとボタンの表示灯が黄色に点灯します。

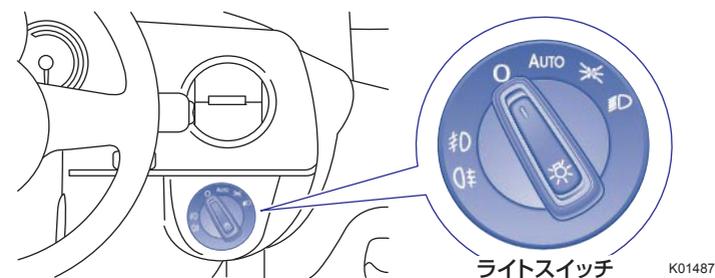
ボタンを再度押すと、システムが ON になります。



ライト

ヘッドライト

運転席右側のライトスイッチでヘッドライトを点灯します。



 ……ヘッドライト消灯

 ……周囲の明るさに応じて自動的に点灯または消灯

 ……スモールライト点灯

 ……ヘッドライト点灯（ロービーム）

ステアリングホイール左側のレバーで、ロービーム、ハイビームの切り替えができます。



K01488

パッシングライト

ステアリングホイール左側のレバーを手前に引くと、パッシングライトが点灯します。

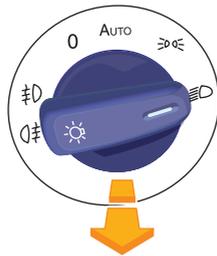


パッシングライト

K01489

フォグランプ

ヘッドライト点灯状態でライトスイッチを手前に引くと、フォグランプが点灯します。

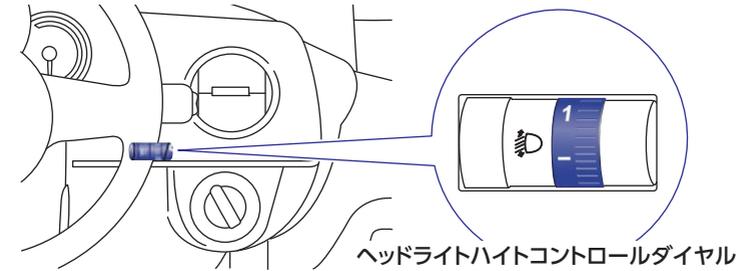


K01541

- 手前に 1 段階目 …… フロントフォグランプ点灯
- 手前に 2 段階目 …… リヤフォグランプ点灯

ヘッドライトハイトコントロール

乗車人数や荷物の積載状態によって、車両は前後に傾きます。車両の状態に合わせて、ヘッドライトの光軸をヘッドライトハイトコントロールダイヤルで調整します。



調整の目安

- …… 運転席、助手席に乗車、ラゲージルームに積載なし
- 1 …… 4 名乗車、ラゲージルームに積載なし
- 2 …… 4 名乗車、ラゲージルームに最大積載
- 3 …… 運転席のみ乗車、ラゲージルームに最大積載

方向指示器

方向指示器

ステアリングホイール左側のレバーで、方向指示器を点滅させます。



K01492

車線変更点滅機能

レバーを上方または下方に軽く操作して放すと、方向指示器が 3 回点滅します。

非常点滅表示灯

センターコンソールの非常点滅表示灯 ON/OFF ボタンで非常点滅表示灯を点滅します。



K01493

ウィンドーワイパー、ウォッシャー

フロントウィンドーワイパー

ステアリングホイール右側のウィンドーワイパーレバーで、フロントウィンドーワイパー・ウォッシャーを作動します。



K01494

- 上に 3 段階目 …… 高速作動
- 上に 2 段階目 …… 低速作動
- 上に 1 段階目 …… 間欠作動
- 下 (放すと戻る) …… 1 回作動
- 手前 (放すと戻る) …… ウォッシャーを噴射し、数回ワイパーが作動

リヤウィンドーワイパー

ステアリングホイール右側のウィンドーワイパーレバーで、リヤウィンドーワイパー・ウォッシャーを作動します。

- 奥に 1 段階目 …… 間欠作動
- 奥に 2 段階目 (放すと戻る) …… ウォッシャーを噴射し、数回ワイパーが作動



K01495

後退時のリヤウィンドーワイパー自動作動

フロントウィンドーワイパーが ON のときにセレクターレバーを“R” にシフトすると、リヤウィンドーワイパーが自動的に作動します。

燃料の給油

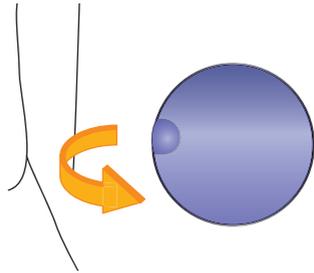
給油前に、下記の状態になっていることを確認してください。

- イグニッションスイッチが“OFF”位置
- セレクトレバーが“N”位置
- パーキングブレーキがかかっている

操作 手順

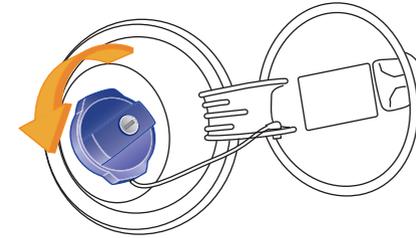
1 フューエルリッドを開けます。

フューエルリッドは車両の右側後方にあります。



K01526

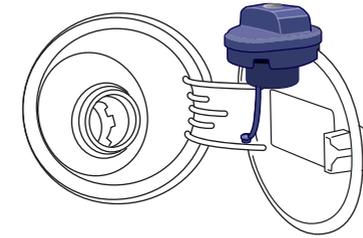
2 キーを使用して燃料タンクのキャップを解錠します。



K01538

3 燃料タンクのキャップを開けます。

キャップを反時計方向に回して外し、フューエルリッドに掛けます。



K01527

4 給油します。

使用燃料 …………… 無鉛プレミアム（無鉛ハイオク）

5 燃料タンクのキャップを閉めます。

キャップを「カチッ」と音がするまで時計方向に回します。

6 フューエルリッドを閉めます。

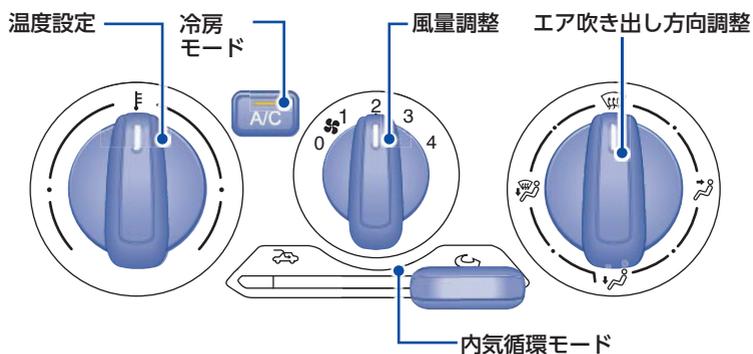
便利な機能

室内装備

マニュアルエアコンディショナー

マニュアルエアコンディショナーの操作

センターコンソールのコントロールパネルで操作します。



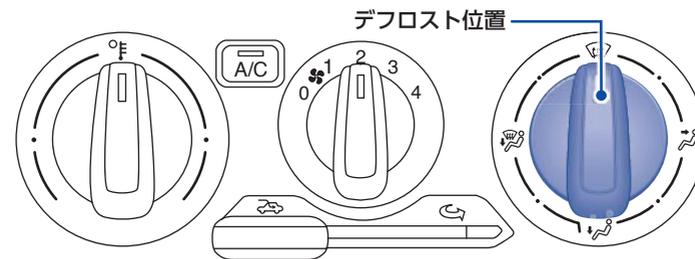
K01530

- 冷房を ON にすると、除湿もできます。車内の温度、湿度がともに高く、窓が曇っている場合は、冷房を ON にして、設定温度を上げてください。

デフロスト機能

フロントウインドーガラスの曇りを取ることができます。エア吹き出し口ダイヤルをデフロスト位置に合わせると、デフロスト機能が作動し、フロントウインドーへ送風を行います。デフロスト機能が作動すると、内気循環モードが OFF になり、冷房システムが ON になります。

早く曇りを取りたいときは、風量調整ダイヤルを右に回して風量を多くしてください。

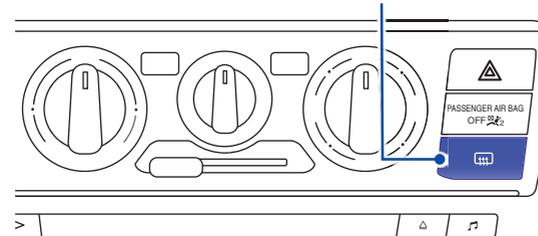


K01531

リヤウインドーヒーター

リヤウインドーガラスの曇りを取ることができます。リヤウインドーヒーターボタンを押すと、リヤウインドーヒーターが数分間作動します。リヤウインドーヒーターが作動すると、熱によりリヤウインドーの曇りが取れます。

リヤウインドーヒーターボタン

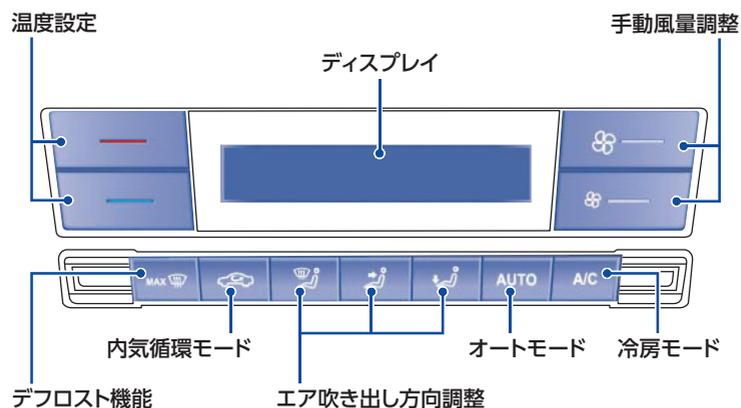


K01539

フルオートエアコンディショナー

フルオートエアコンディショナーの操作

センターコンソールのコントロールパネルで操作します。



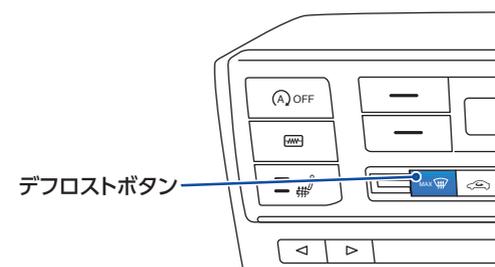
K01496

- 冷房を ON にすると、除湿もできます。車内の温度、湿度がともに高く、窓が曇っている場合は、冷房を ON にして、設定温度を上げてください。
- オートモードを ON にすると、設定温度に応じて、風量、送風方向を自動的に制御します。手動でこれらを制御すると、オートモードは OFF になります。

デフロスト機能

フロントウインドーガラスの曇りを取ることができます。デフロストボタンを押すとデフロスト機能が作動し、フロントウインドーへ送風を行います。

デフロスト機能が作動すると、内気循環モードが OFF になり、吹き出し口が自動的にフロントウインドー側に設定されます。また、外気温との温度差があるときは、冷房システムが ON になります。



K01498

リヤウインドーヒーター

リヤウインドーガラスの曇りを取ることができます。リヤウインドーヒーターボタンを押すと、リヤウインドーヒーターが数分間作動します。リヤウインドーヒーターが作動すると、熱によりリヤウインドーの曇りが取れます。

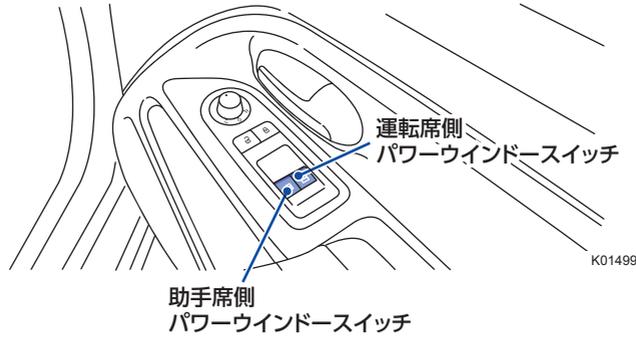


K01497

ウィンドー

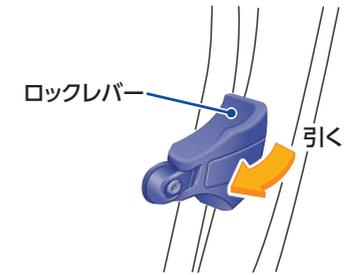
フロントパワーウィンドー

運転席、助手席のドアについているパワーウィンドースイッチで、フロントサイドウィンドーの開閉を操作します。

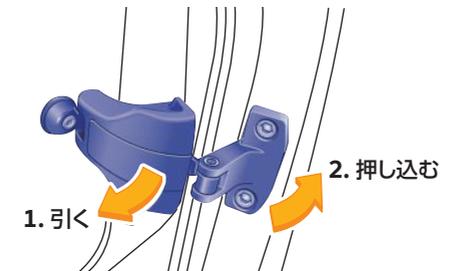


リヤチルトウィンドー

リヤサイドウィンドーはチルト機能がついています。リヤチルトウィンドーを開けるには、ロックレバーを矢印の方向に引いてロックを解除し、さらに押し込みます。



リヤチルトウィンドーを閉めるには、ロックレバーを一度引き、ロック音がするまで後方に押し込みます。

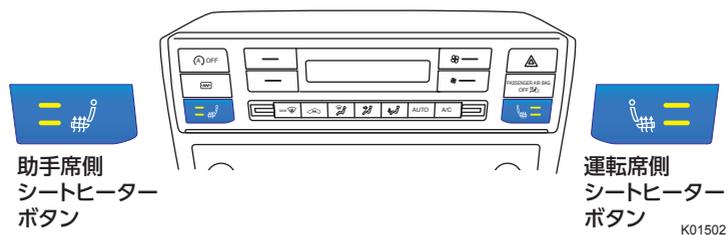


シートヒーター

センターコンソール上部にあるフロントシートヒーターボタンを押すと、フロントシートのシートクッションと背もたれのヒーターが作動します。

ヒーターの強さは2段階です。弱のときは表示灯が1つ点灯し、強のときは表示灯が2つ点灯します。

強の状態でも15分以上経過すると、自動的に弱になります。



車内が暖かいときや外気温が高いときは、シートヒーターボタンを押してもシートヒーターは作動しません。

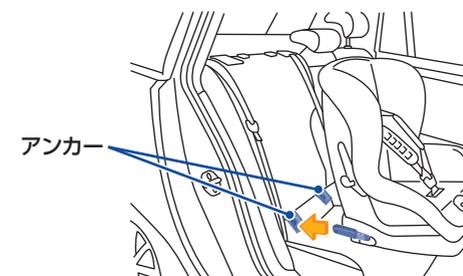
チャイルドシート

チャイルドシートを取り付ける時は、チャイルドシートの取扱説明書に従って、正しく取り付けてください。

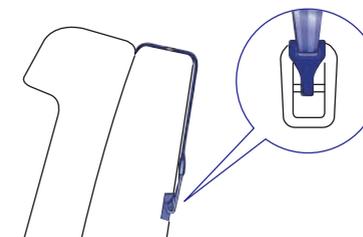
ISOFIX チャイルドシートの取り付け

リヤシートには、ISOFIX に対応したチャイルドシートを取り付けることができます。

ISOFIX チャイルドシートのアームを、リヤシートクッション後方のアンカーに固定します。



トップテザー固定部は、背もたれの裏側にあります。

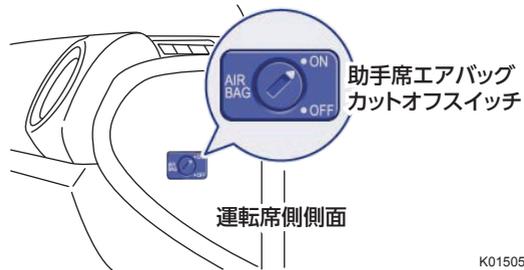


エアバッグ

運転席側フロント、助手席側フロント、および前席サイドエアバッグが装備されています。

助手席側エアバッグの機能停止

後ろ向きに座るタイプのチャイルドシートを助手席に取り付けると、助手席側フロントエアバッグが作動した時に非常に危険ですので、助手席側フロントエアバッグの機能を停止させてください。運転席ドアを開け、側面のカットオフスイッチを、キーを使ってOFFにすると、助手席側フロントエアバッグの機能を停止することができます。



K01505

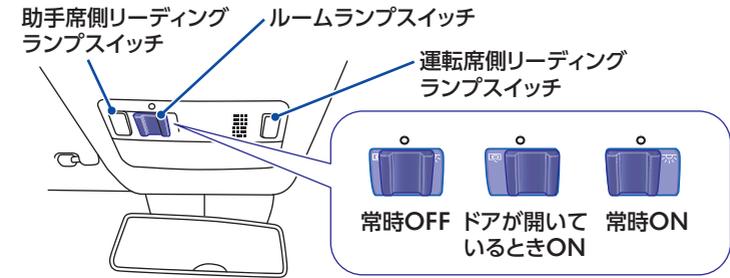
助手席側フロントエアバッグの機能を停止すると、センターコンソール上部の警告灯が点灯します。



K01506

ルームランプ、リーディングランプ

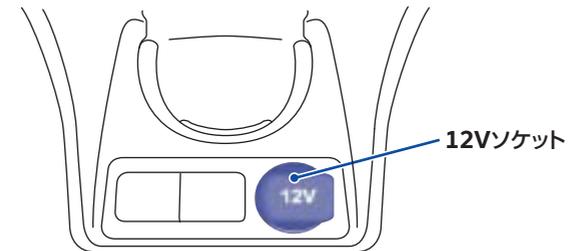
ルームランプはルームミラーの近くにありますが、ルームランプは、独立したリーディングランプとしても点灯することができます。



K01540

12V ソケット

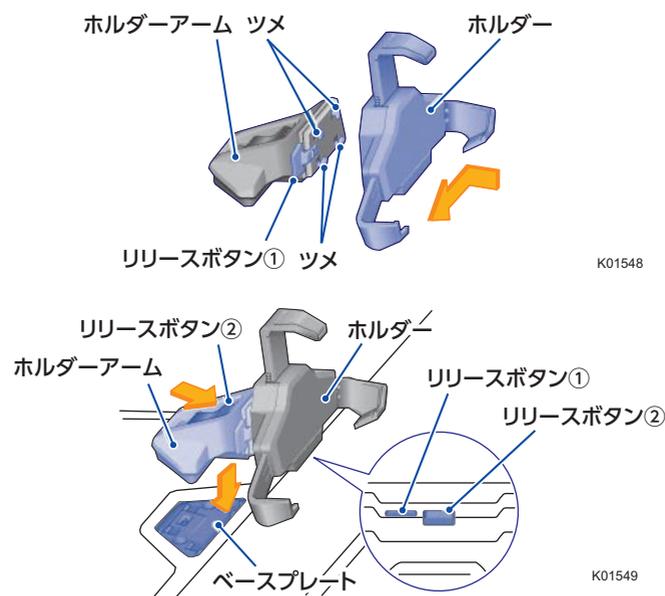
12V ソケットはセンターコンソール下部にあります。最大消費電力は 120W です。



K01508

スマートフォンホルダー

スマートフォンをホルダーに固定し、専用アプリを使用してナビゲーション機能や走行データなどを表示することができます。



スマートフォンホルダーを取り付ける

操作手順

- 1 ホルダーをホルダーアームのツメに差し込みます。
- 2 差し込んだホルダーを固定するまでスライドさせます。
- 3 ホルダーアームをベースプレートに押し込みます。

スマートフォンを固定する

操作手順

- 1 ホルダーのリリースボタン①を押します。
- 2 ホルダーのアーム（下側）にスマートフォンを差し込み、スマートフォンの幅に合わせてアーム（下側）の幅を調整します。
- 3 ホルダーのアーム（上側）をスマートフォンが固定されるまでスライドさせます。

スマートフォンを取り外す

操作手順

- 1 スマートフォンを手でしっかり持ちます。
- 2 ホルダーのリリースボタン②を押し、ホルダーのアーム（上側）からスマートフォンを外します。
- 3 ホルダーのアーム（下側）からスマートフォンを取り外します。

スマートフォンホルダーを取り外す

操作手順

- 1 ホルダーを手でしっかり持ちます。
- 2 ホルダーアームのリリースボタン①を前方に押し、ホルダーを固定した方向と反対方向にスライドさせ取り外します。
- 3 ホルダーアームを手でしっかり持ちます。
- 4 ホルダーアームのリリースボタン②を前方に押し、ダッシュパッド上から取り外します。

荷物の積載

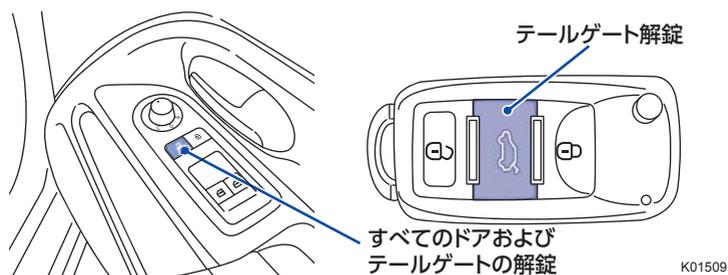
ラゲージルーム

テールゲートを開ける

操作 手順

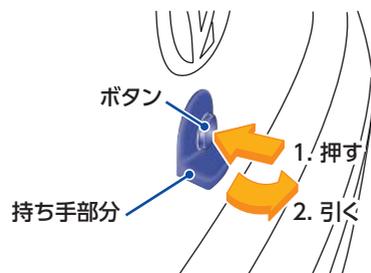
1 解錠します。

テールゲートを解錠するには、リモコンキーのテールゲート解錠ボタン、もしくは運転席ドアの解錠ボタンで解錠します。



2 テールゲートを開けます。

ボタンを押すと少し開きますので、ボタン下の持ち手部分を手前に引いて、テールゲートを開きます。少し引くと、ダンパーの力で自動的に持ち上がります。

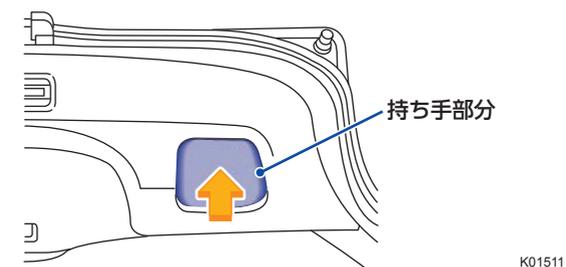


テールゲートを閉める

操作 手順

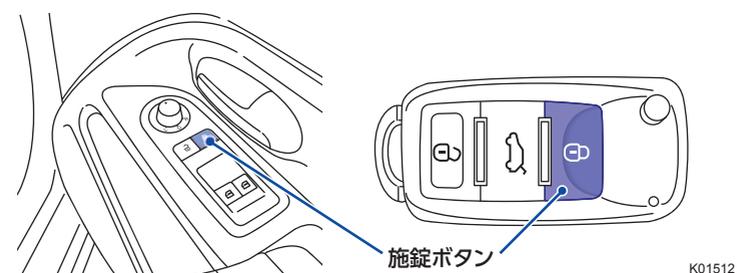
1 テールゲートを閉めます。

テールゲート内側の右側にある持ち手部分を引いて、テールゲートを閉めます。



2 テールゲートを施錠します。

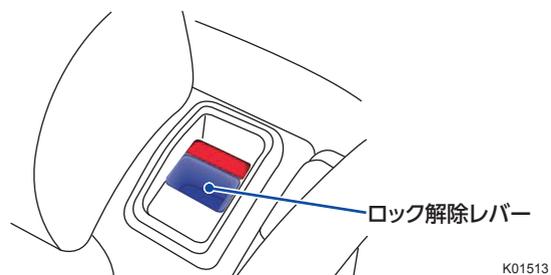
テールゲートの施錠は、ドアの施錠と同時です。リモコンキーの施錠ボタン、もしくは運転席ドアの施錠ボタンで施錠します。



リヤシートの背もたれを倒す

ラゲージルームを広く使用するため、リヤシートの背もたれは倒すことができます。

背もたれのドア側上部についているロック解除レバーを引き、背もたれを倒します。



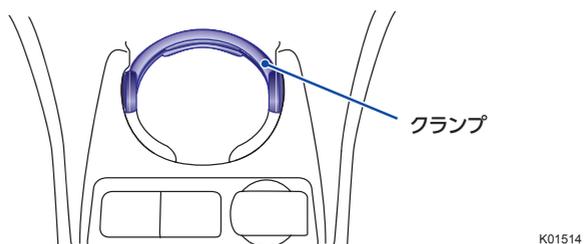
リヤシートの背もたれを戻す

背もたれを元に戻すときは、背もたれを起こし、ロックするまで後方に押し込みます。

ロックされると、ロック解除レバーが元に戻り、赤い印が見えなくなります。

車内収納

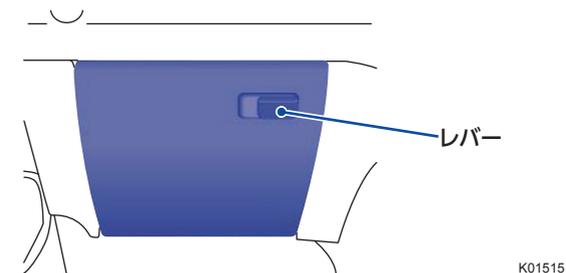
センターコンソールの小物入れ



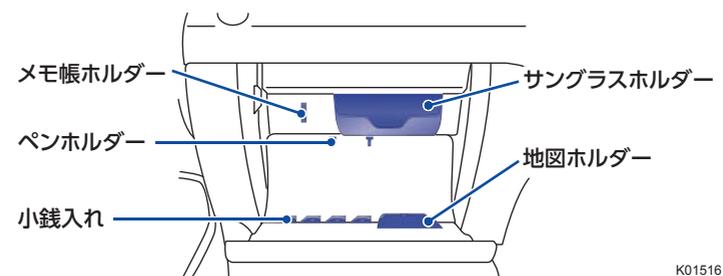
下部のクランプを前側に出すと、カップホルダーとしても使用できます。

グローブボックス

レバーを引いて、グローブボックスを開けます。

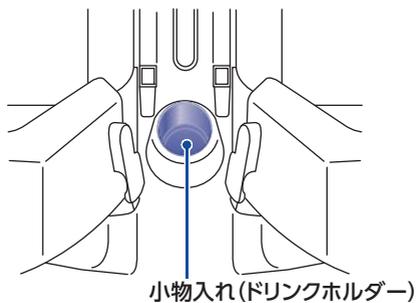


グローブボックス内には、サングラスホルダー、メモ帳ホルダー、ペンホルダー、地図ホルダー、小銭入れがあります。



リヤセンターコンソールの小物入れ

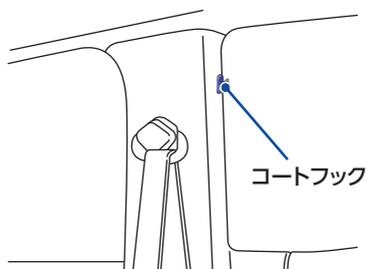
リヤセンターコンソールの小物入れは、ドリンクホルダーとしても使用できます。



K01517

コートフック

左右の中央ドアピラーにコートフックがあります。

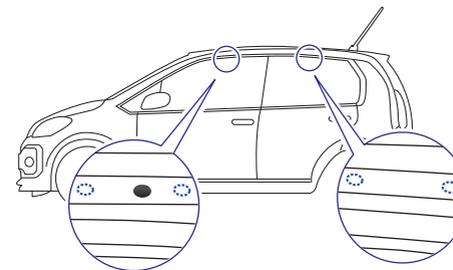


K01518

ルーフキャリア

ルーフキャリアは、キャリアに同封された取り付け説明書の手順に従ってください。

ベースキャリアは図の位置に固定します。



K01519

ルーフ部の最大許容重量は 50kg です。

運転支援

スタートアシストシステム

坂の途中で停車しているときにブレーキから足を離しても、発進時に車が下がらないように、ブレーキを保持します（ヒルホルダー機能）。

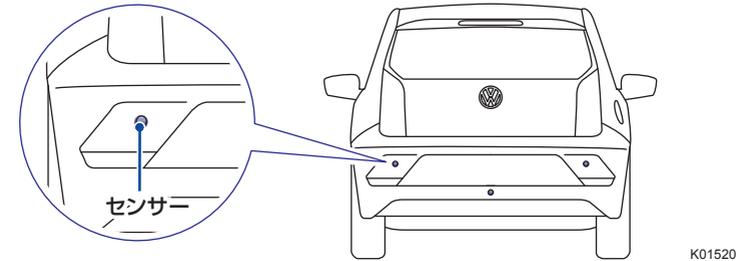
上り坂でDレンジに、もしくは下り坂でRレンジにシフトしているときに作動します。

アクセルペダルを踏み、発進すると、自動的にブレーキが解除されます。

下り坂でRレンジの場合は、ブレーキから足を離したあと数秒以内にアクセルペダルを踏まないと、自動的にブレーキが解除され、車両が動き始めます。

パークディスタンスコントロール

パークディスタンスコントロールは、リヤバンパーに内蔵された3つのセンサーによって、障害物への接近を知らせるシステムです。



K01520

Rレンジで後退中に障害物に近づくと、ピッピッピッピッという警告音が鳴り、インフォテイメントシステムの画面には、黄色のバーがおおよその距離と角度で表示されます。

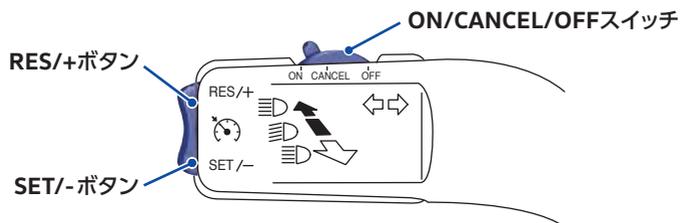
さらに障害物に近づくと、ピーという警告音が鳴りっぱなしになり、画面に赤色のバーが表示されます。



K01521

クルーズコントロールシステム

クルーズコントロールシステムは、約 20km/h 以上での走行中、アクセルペダルを離しても車速を一定に保つことができるシステムです。クルーズコントロールシステムは、ステアリングホイール左側のレバーについている、RES/+ ボタン、SET/- ボタン、ON/CANCEL/OFF スイッチで操作します。



K01522

クルーズコントロールシステムが作動しているときは、コンビネーションメーターに表示灯  が点灯します。

操作手順

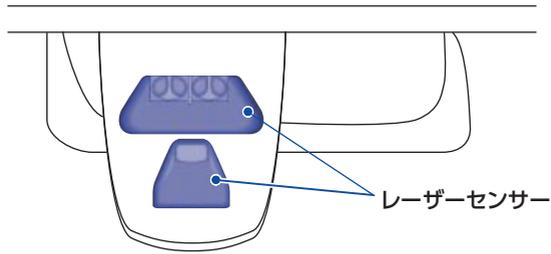
- 1 クルーズコントロールシステムを ON (スタンバイ状態) するには、ON/CANCEL/OFF スイッチを ON にします。
- 2 システムを作動させる (車速を一定に保つ) には、SET/- ボタンを押します。
- 3 一時的に車速を一定に保つ操作を止める時は、ON/CANCEL/OFF スイッチを CANCEL にするか、もしくはブレーキペダルを踏みます。
- 4 一時的に操作を止めた後、以前設定した車速に戻すには、RES/+ ボタンを押します。
- 5 システム作動中に設定車速を上げるには、RES/+ ボタンを押します。長押しすると設定車速が上がり続けます。
- 6 システム作動中に設定車速を下げるには、SET/- ボタンを押します。長押しすると設定車速が下がり続けます。
- 7 クルーズコントロールシステムを OFF するには、ON/CANCEL/OFF スイッチを OFF にします。

クルーズコントロールシステムは制動力を発生させての減速はできません。

下り坂で車速が自然に上がっているときは、ブレーキを踏んで減速してください。

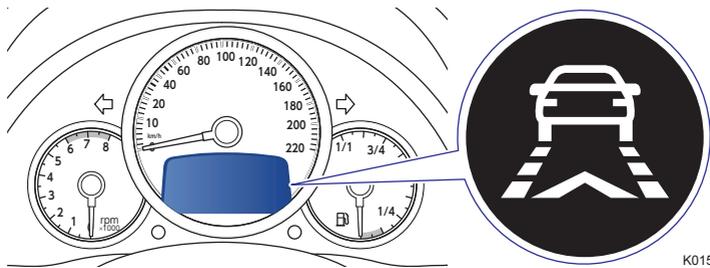
シティエマージェンシーブレーキ

シティエマージェンシーブレーキは、ルームミラーの裏側についているレーザーセンサーによって先行車をモニターし、約 5km/h ~ 30km/h の車速で走行中に衝突の危険性を検知すると、自動的に減速します。



K01412

衝突の危険性を検知し、システムが作動すると、コンビネーションメーターのディスプレイには下記の図が表示されます。

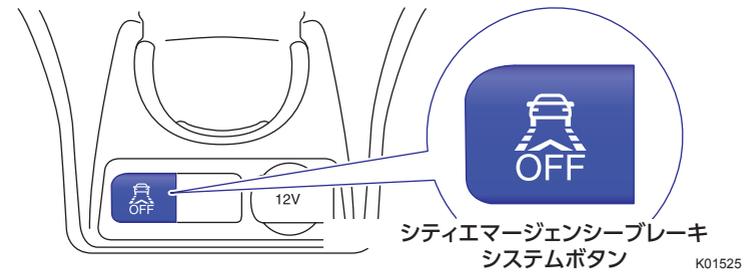


K01524

シティエマージェンシーブレーキの機能停止

シティエマージェンシーブレーキの機能を OFF にする必要がある場合は、センターコンソール下部のシティエマージェンシーブレーキシステムボタンを長く押しします。

シティエマージェンシーブレーキの機能が OFF にされると、コンビネーションメーターのディスプレイに「City emergency brake deactivated.」(シティエマージェンシーブレーキ非作動) と表示されます。ボタンを再度短く押すと、シティエマージェンシーブレーキの機能が ON になり、コンビネーションメーターのディスプレイに「City emergency brake activated.」(シティエマージェンシーブレーキ作動) と表示されます。



K01525

ESC(エレクトロニック・スタビリティ・コントロール)

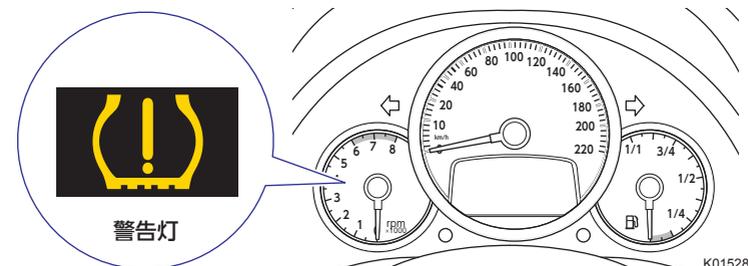
タイヤがスリップする危険性を減らし、走行安定性を高めます。ESC (エレクトロニック・スタビリティ・コントロール) には、以下の機能が組み込まれています。

- ABS (アンチロックブレーキングシステム)
ブレーキをかけたとき、車輪がロックするのを防いで車両の操縦安定性を確保します。
- BAS (ブレーキアシストシステム)
ドライバーが急ブレーキなどでブレーキペダルを早く踏み込んだとき、ブレーキ圧を高めることで短い距離で停車することを補助します。
- ASR (トラクションコントロールシステム)
発進時や加速時のホイールの空転を抑え、安定した加速を補助します。
- EDS (エレクトロニックディファレンシャルロックシステム)
直進中、空転した駆動輪にブレーキをかけ、他の駆動輪に出力を伝達します。
高速カーブ走行時、内側の前輪にブレーキをかけて空転を防ぎ、車両の操縦安定性を確保します。

タイヤモニタリングシステム

パンクのおそれがあるときなどに警告灯を点灯させてお知らせします。

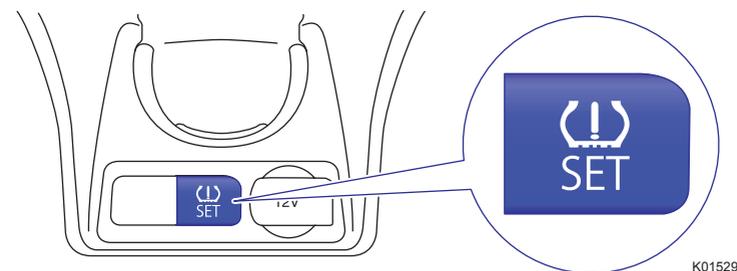
警告灯が点灯したときはすみやかに安全な場所に停車し、4輪のタイヤ空気圧を点検してください。



タイヤモニタリングシステムの設定のしかた

タイヤ空気圧を調整したり、タイヤまたはホイールを交換したときは、システムを正しく作動させるため、タイヤモニタリングシステムを設定しなおしてください。

フロントセンターコンソールのタイヤモニタリングシステムボタンを、確認音が鳴るまで押しと、タイヤモニタリングシステムを設定することができます。



K01529

フォルクスワーゲン車は、全車種／モデルにおいて日々開発が進められ、進化を遂げています。このため、各車両における装備、仕様、技術に関する内容について随時変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。本書での車両の装備、外観、性能、寸法、車重、消費電力、規格、機能に関する記述はすべて、編集時点での内容となります。一部、本書の発行時点では未導入となる仕様、または特定の国にのみ供給される仕様があります。このような理由による記載内容、図等の違いについては、あらかじめご了承ください。

本書の複製、コピー、翻訳は、その一部であっても、書面によるフォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社の承認がない限り許可されません。

すべての著作権はフォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社に帰属します。本書は予告なく改訂される場合があります。

Printed in Japan



本書は、無塩素漂白パルプを使用しています。

発行：2017年4月
印刷：2017年4月
発行番号：171.5J2.BUP.70